

丹後半島・碇高原牧場の牛たちが冬支度 ～季節の風物詩、放牧を終え、牛舎へ帰ってきます～

■京都府農林水産技術センター畜産センター碇高原牧場では、厳しい冬の到来を間近に控え、5月から放牧してきた牛たちを牛舎に戻す収牧作業を11月20日(木)に実施しますので、当日の取材をよろしくお願いします。

1 日 時

令和7年11月20日(木)午前10時00分から(予定)

2 場 所

京都府農林水産技術センター畜産センター碇高原牧場
(京丹後市丹後町碇1)

3 内 容

(1) 対象家畜

- ・黒毛和種の妊娠牛(8頭)
※来年2~5月に子牛を出産予定
- ・牛の年齢は平均5.5歳(1歳10か月~9歳6か月)
※放牧で健康な足腰を作り、収牧された牛たちは出産するまで牛舎で過ごし、元気な子牛を産みます。



牛舎へ向かう牛たち(令和5年度)

(2) 収容方法

放牧場(1か所)から牛舎まで職員が誘導(移動距離は片道約1.5km)

4 その他の

放牧場や牛の状態、天候等により日時や頭数を変更する場合があります。ご取材いただける場合は、お手数ですが、事前に日時確認のご連絡をお願いします。

<参考>

・本年の放牧状況

放牧期間	放牧日数	放牧延べ頭数
5月8日~11月20日	197日	2,442頭

- ・碇高原牧場の飼育頭数:和牛成牛90頭、和牛子牛30頭、乳牛40頭
- ・昨冬の初積雪:4cm(令和6年12月7日)
- ・昨冬の最高積雪:122cm(令和7年2月24日)

【本報道発表に関するお問合せ】

京都府農林水産技術センター畜産センター碇高原牧場

場長 種子田 たねだ TEL 0772-76-1121
主任研究員 村上 TEL 0772-76-1121

